

キャラクター名  
初霜 ヤヨイ

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ブラム=ストーカー		ワークス	UGN	エージェントA	カヴァー	医者
	オプション		年齢	75		性別	女性
覚醒	渴望	衝動	吸血		初期侵食率	37 %	
出自	天涯孤独	経験	成り上がり		邂逅	弟子取り	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	88
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識: 医学	4		情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	4r	3	5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
D: 守護者	P	N		
桜井氷月	P 信頼	N 不安		
桜井雨月	P 信頼	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
異形の刻印	10	(基+3)	常時	至近	自身	自動	-	
効果: あなたの最大HPを+[LV*5]する。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。このエフェクトお取得した場合、侵蝕基本値を+3する。								
不死者の恩寵	2	5	クリンナップ	至近	自身	自動	-	
効果: あなたのHPを[(LV+2)D+【肉体】]点回復する。戦闘中ではない場合、このエフェクトは1シーンに1回まで使用できる。								
鮮血の一撃	1	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃のダイスを+[LV+1]個する。ただし、あなたは2点のHPを消費する。								
コンセ:ブラム	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: いつもの。								
始祖の血統	2	4	メジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果: このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+[LV*2]個する。ただし、あなたは3点のHPを消費する。								
透過	1	4d10	オート	至近	自身	オート	120↑	
効果: 重圧を受けていても使用可能。あなたへのHPダメージが算出された直後に使用する。あなたに適用される(予定の)HPダメージを0に変更する。このエフェクトは1シナリオに1回まで使用できる。								
ハイパータフネス	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: あなたの最大HPを+[LV×3]する。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【Karte】

東京医大卒道系ガチムチ筋肉ババアドクター。

データ運用: 攻撃時、鮮血の一撃、始祖の血統でダイス数が4+3+3+6=16。ダイス16のC7の期待達成値は35で、ダメージダイスは4個。ここにジャイアントグロウスの+2dを乗せて6d+2となる。1d10の期待値が5.5だとして35ダメージ。ロイスと侵蝕値に余裕があればタイタスでC値を下げて、さらにダメージが5~10ほど伸びる想定。

ショッキングピンクに染め上げられた三つ編みの髪と、着ている白衣を内側から破ってしまいそうなくらいに盛り上がった筋肉がチャームポイントの75歳おばあちゃん。レネゲイドを発症したのは今から5、6年ほど前のことで、当たり前のことだがオーヴァードである期間よりもそうでなかった時間の方が圧倒的に長い。そして上記のチャームポイント、特に盛大な筋肉量に関しては、オーヴァード以前から彼女のトレードマークとして維持されてきたものであることを留意しておくべきだろう。履物は下駄を愛用している。

元々十分に健康な身体を持っていた彼女であったが、30歳を過ぎると本格的にトレーニングで鍛え始める。髪の色もこれと同じくらいの時期からであり、混じり始めた白髪を誤魔化すために大胆にもピンクで染めたことが由来。齢を重ねるごとに筋肉は膨れ上がり、20代の頃には美人女医として患者からも同僚からもアプローチをよく受けていたが、段々と好んで寄り付く男も減っていき、結局生涯独身を貫く。

オーヴァードとして覚醒したのは、出張先で災害に巻き込まれた時のことだった。自然の脅威の前では、自身の生命を守ることはできても他人の命までもを救いけることは出来なかった。ここが病院の手術室なら救えたかもしれない。いや、それは認識の甘さというものだ。救急搬送中に亡くなる人も少なくない。病院まで患者を運ぶこと、それ自体が既に医療行為であり、手術の始まりだ。あたしは力が欲しい。もっと多くの人間から死を遠ざける力が。傷を治す力が。……違う。治す力では足りない。どうせ求めるなら貪欲に、そも傷つけない、傷つけさせないための力……!

鍛え抜かれた肉体は、レネゲイドによるものではなく、むしろ二つのシンドロームの発症は、ウィルスの方が彼女の肉体に感応したのだと言えるだろう。体を包む筋肉という鎧が、ちょっと再生能力を手に入れただけ。人間の限界を少し越えてしまったというだけで、人の身の時点で限界まで至ろうとしていた彼女の在り方に、何の変化もない。